

(科目コード : 1100820061Y1)

【改訂】第15版(2017-03-15)

【科目】国語表現

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】1組 1年

【担当教員】前期：田貝 和子  
後期：田貝 和子

【授業目標】

論理的な文章を客観的に理解することができる。  
文学的な文章を多角的に鑑賞することができる。  
自己の考えを論理的、客観的に表現するための基本的な能力を養うことができる。  
現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の基礎的知識について理解を深めることができる。

【教育方針・授業概要】

論理的文章を教材とする授業においては、語彙・文法的事項を丁寧に確認しつつ、文章の展開に即して論旨を正確に把握し、論説内容に検討を加える。併せて、文章表現力の錬成も兼ねて「論旨の要旨」をまとめる作業を行う。  
文学的文章・韻文を教材とする授業においては、登場人物の心理を筋に即して読み取ること、あるいは凝縮された表現からイメージを膨らませること等を主眼とする。

【教科書・教材・参考書等】

教科書：新訂国語総合 現代文編：第一学習社：9784804008691  
参考書：新訂総合国語便覧：第一学習社：9784804033013  
参考書：常用漢字フォルダ：浜島書店

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚教材を使用する。

【メッセージ】

1学年の国語表現では、読むことを中心に行います。正確に読解することを通じて、考える力を身につけてください。それが、自分の考えを他人に正確に伝えるための表現力につながります。  
ノートを一冊用意してください。また、国語辞典も常に机の上に置き、辞書を引く習慣をつけてください。なお、提出物、授業態度に関してもしっかりチェックします。

【事前に行う準備学習】

『新訂総合国語便覧』（第一学習社）の「口語文法要覧」（pp.576-581）を読んでおいてください。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%，期末試験：40%，漢字テスト：12%，課題プリント：8%  
[後期]中間試験：40%，期末試験：40%，漢字テスト：12%，課題プリント：8%

【本校の学習・教育目標】

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

【授業計画】(国語表現)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	授業の概要を述べ、意義と目的について説明する。		
第2回	口語文法	口語文法の基礎を身につける。	漢字テスト	
第3回～第4回	水の東西(評論一)	対比表現に着目し、論理の展開や要旨を読み取る。	漢字テスト	
第5回～第7回	わからないからおもしろい(随想一)	筆者のエピソードを自らの問題として取り込みながら読む態度を身につける。	漢字テスト	
第8回～第15回	羅生門(小説一)	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	漢字テスト	
第16回～第19回	ものごとば(評論二)	人間にとってことばとは何か、理解を深める。	漢字テスト	
第20回～第22回	短歌と俳句(詩歌一)	韻文の法則性を理解し情景や感動の中心を読み取る。	漢字テスト	
第23回～第26回	「間」の感覚(評論三)	例を的確に読みとり、筆者の主張へと集約させる読解方法を身につける。	漢字テスト	
第27回～第30回	鶯のうへ・一つのみるへん(詩歌二)	凝縮された表現からイメージを膨らませ、想像力や感受性を身につける。	漢字テスト	